

経営比較分析表（平成28年度決算）

岡山県笠岡市 笠岡市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	13	-	ド訓	救輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
50,346	11,571	非該当	10:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 方…ガン（放射線）診療

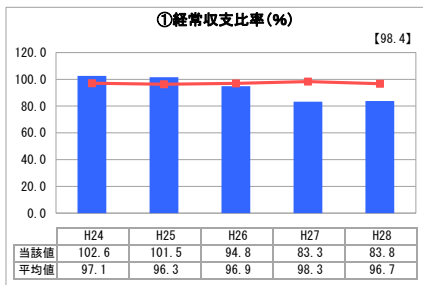
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
160	34	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	194
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
105	32	137

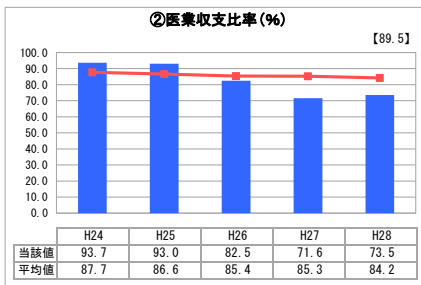
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

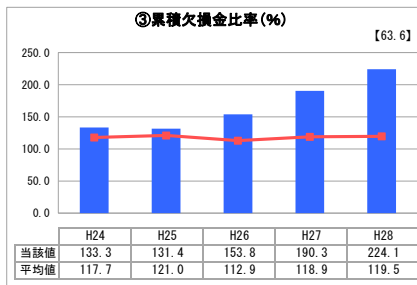
1. 経営の健全性・効率性



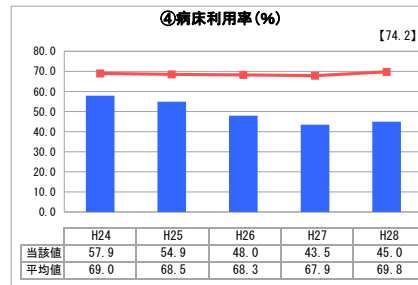
「経常損益」



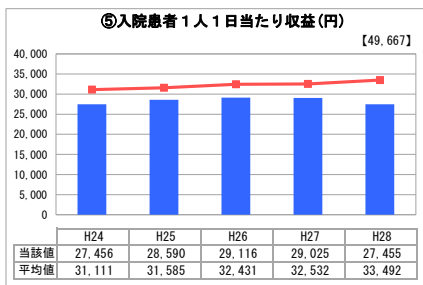
「医業損益」



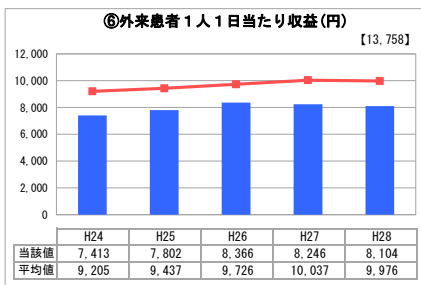
「累積欠損」



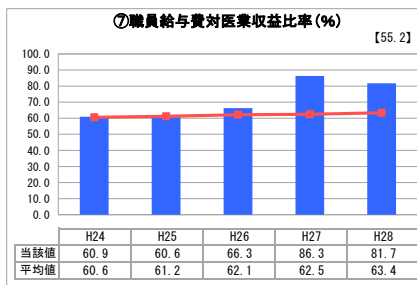
「施設の効率性」



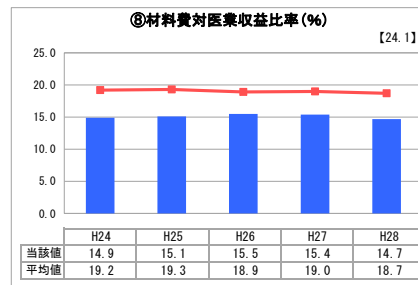
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

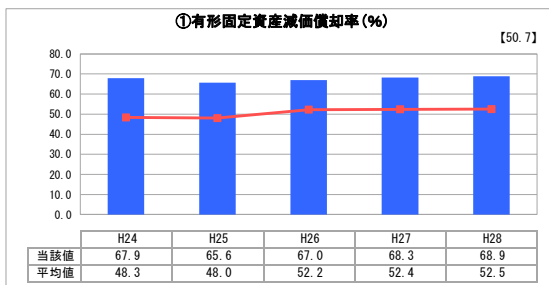


「費用の効率性①」

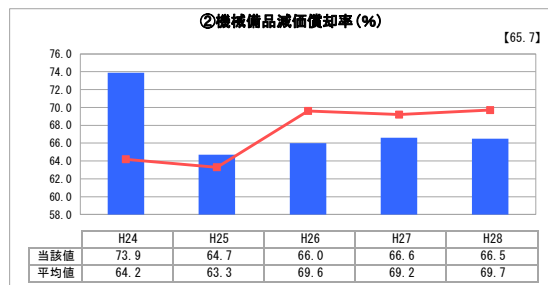


「費用の効率性②」

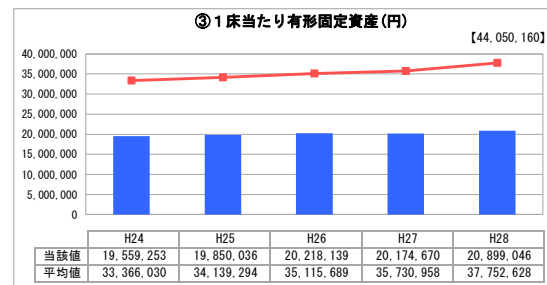
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

- ① 良質な医療の提供
- ② 島よ部医療の対応
笠岡市の島しょ部にある6つの診療所のうち、白石島、真鍋島、六島の3つの診療所での診療を行っています。
- ③ 笠岡での災害時の拠点となる病院
- ④ 二次救急医療施設・救急告示病院
- ⑤ 地域包括ケアシステム構築の一翼を担う病院

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

医師不足の中で入院・外来患者数の減少に伴い医療収益が伸びていない事と考えると考えられます。特に、入院では、一般病床利用率がここ数年40%台と低い状態が続いており、毎年3～4億円の赤字を計上しています。こういった状況を改善するため、新たな人員の採用や過剰な医療機器の更新を行うのではなく、今ある人材・器材で黒字化を目指しており、施設基準の見直しや診療コマ数の増、経費の削減に取り組んでいます。

2. 老朽化の状況について

既存棟は昭和38年に建築してから50年以上、昭和56年に増築した建物も30年以上経過しており、施設設備の老朽化により、様々な支障が生じています。特に既存棟は耐震補強の対応外で、撤去又は改築が必要とされています。また、増築した建物は、破壊防止の補強工事が必要とされていますが、入院・外来患者の方々がいる状況の中で、補強工事ができない状態が続いています。

全体総括

これまで急性期医療から慢性期医療までの全ての医療を一貫して担う病院完結型の医療を行ってきましたが、最近では、医師の減少により、これまでどおりの医療の提供が果たせなくなっています。そのため、市内の医療機関と互いに協力・連携しながら地域の医療機関全体で切れ目のない医療を行っていくという地域完結型の医療の実現を目指しています。

さらに、地域医療構想区域における三次救急・二次救急を担う基幹病院との連携や、県境を越えた医療連携を強化するとともに、介護老人福祉施設等との連携を深めることで、入院医療から在宅医療等への移行・支援を促進し、住民が住み慣れた場所から自分らしい生活を人生の最期まで安心して送れるように、地域包括ケアシステムの構築を目指しています。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。